

# ベルーフニュース vol.50

発行日：2025 年 9 月 18 日

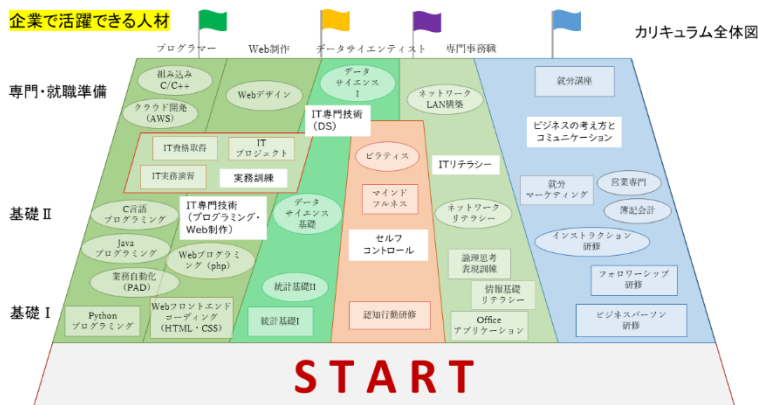
## ♪ベルーフのIT 実務演習

ベルーフの研修は、原則、IT 系・ビジネス系・セルフコントロール系の3種類を、基礎教育Ⅰ、基礎教育Ⅱ、専門・就労準備の3段階で進めて行きます。ただし、これらの研修は座学の側面を持ち、企業内では「新入社員研修」や「社内勉強会」のような位置づけで、実践部分は各自の取組みに委ねられます。

IT のスキルやビジネスの基礎を勉強しただけでは、仕事をする力がついたとは言えません。このためベルーフでは、一定程度の基礎教育を終えたら、学んだことを実践する「IT 実務演習」という科目を設定しています。

今期（2025 年 9 月～11 月期）の実務では、コロナ禍でしばらく出来なかった電話応対を復活。ベルーフにかかってくる実際の電話を研修生が取り、取り次ぎ、要件確認などを適切に対応できるようになる訓練です。電話は誰でも緊張するものですが、対応の基礎を学んだ後は、とにかく場数。色々なケースを経験することで、だんだん上達して行きます。その他にも、ベルーフ Web の維持管理や研修生ブログの執筆依頼と原稿管理、スタッフが業務で使うツールの作成（Python で開発）など、切り出した業務に挑戦し実践力を養います。

担当した業務で成果を出すことはもちろん重要ですが、演習・訓練として最も大切なのはプロセスです。



①業務に着手する前に、業務内容を正確に把握しているか、②作業内容やスケジュールについて、予め見通しを持ってから取り組んでいるか、③上司やメンバーに合意をとった上で業務を進めているか、④報告・連絡・相談が適切に出来ているか、等を、担当インストラクターがマネジャーの立場で指導します。これらを通して研修生は、IT 実務演習を通して実際に働くイメージを持ち、どんな場面で自分の能力を発揮できるのか、あるいはどんな配慮をもらえれば力を発揮しやすいのかを、自らの体験を通して学んで行きます。

## ♪就労選択支援事業所ベルーフ Teilhabe(タイルハーベ)をはじめます

2025 年 10 月より、新しい障害福祉サービスとして「就労選択支援事業」が始まります。ベルーフも現在認可申請中で、開業は 11 月 1 日を目指して準備を進めています。

就労選択支援事業所とは、簡単に言うと就労アセスメントを行う事業所で、利用期間は最大 2 ヶ月、業務体験や研修を受けたり、様々な福祉の専門家で構成される連絡調整会議を経たフィードバックを得たりすることで、今後の福祉サービス利用について客観的な意見を得ることができる所です。就労系の福祉サービスは多岐にわたるため「何を基準に決めたら良いかわからない」という人や、「自分の職業適性を知りたい」という人は、活用を検討してみると良いサービスではないかと思います。

ベルーフの選択支援事業所は、「ベルーフ Teilhabe」と名付けました。Teilhabe は、ドイツ語で「参加」「かわり」という意味を持ち、「障害者が単なる”存在”ではなく、積極的に社会の一員として関与している状態を表すこと」から、この名に決めました。就労移行支援事業所「ベルーフ」、定着支援事業所「ベルーフ Integra」と並んで、障害者の就労を支援する事業所として、活動して行きたいと思います。

## 就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川 5-4-1 サイドビル茗荷谷 9 階

TEL 03-5803-2424 E-mail [info@beruf.jp](mailto:info@beruf.jp)

Web <https://beruf.jp/> X(Twitter) @tw\_beruf11